

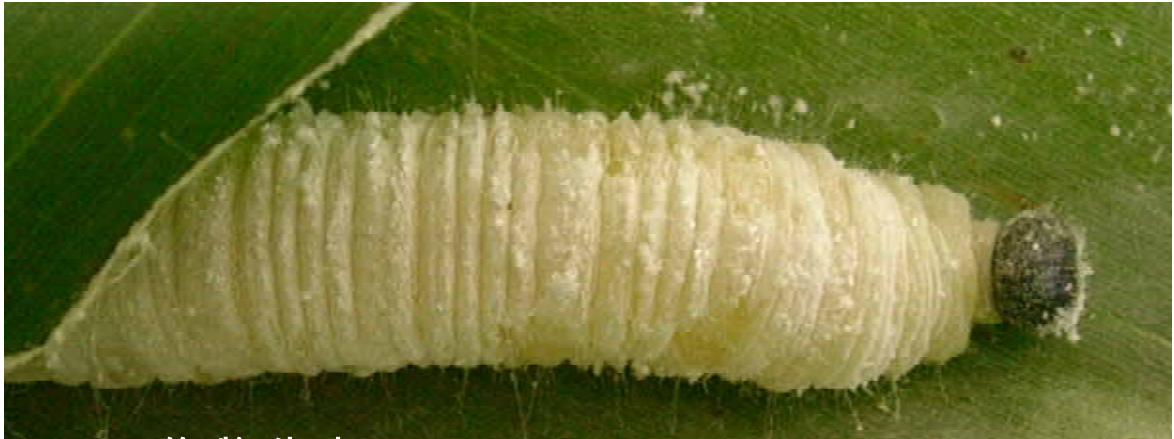
平成17年度病害虫発生予報第9号(12月予報)

今月のトピックス

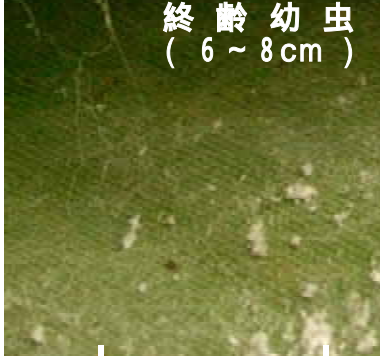
<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

バナナセセリ (バナナ・イトバショウ)

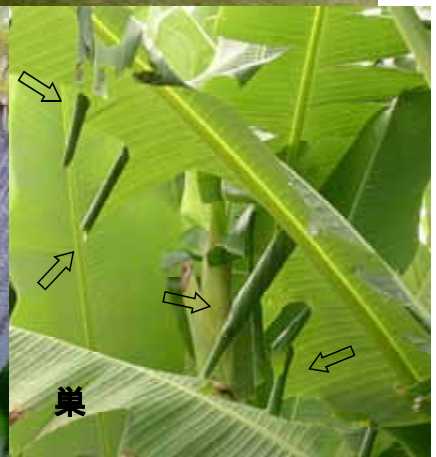
Erionota torus Evans



終齢幼虫
(6~8cm)



成虫



巢

生態と被害

本種は沖縄本島周辺にだけ分布し、年に4世代繰り返す。成虫は赤い目が特徴で葉や仮茎に産卵する。幼虫はバナナやイトバショウの葉を巻いて筒状の巣を形成し、その中に潜み葉を食害する。被害は8月頃から目立ちはじめ、10月から12月にピークに達する。著しい場合には中肋のみを残し全葉を食害する場合がある。台風の接近が少ない年や夏期が小雨の年では多発する傾向がある。

予報の見方

発生予察情報は、前月の調査に基づき発生程度が「並」以上の病害虫を中心に掲載しています。「やや少」以下の病害虫については通常掲載していません。

「発生の程度」は平年との比較を示しています。そのため毎年その月で高い数値が続いた場合にはその月の「発生の程度」は密度が高くても「並」として発表されます。前月との多少の比較はグラフを参考にして下さい。

平成17年12月1日

沖縄県病害虫防除所